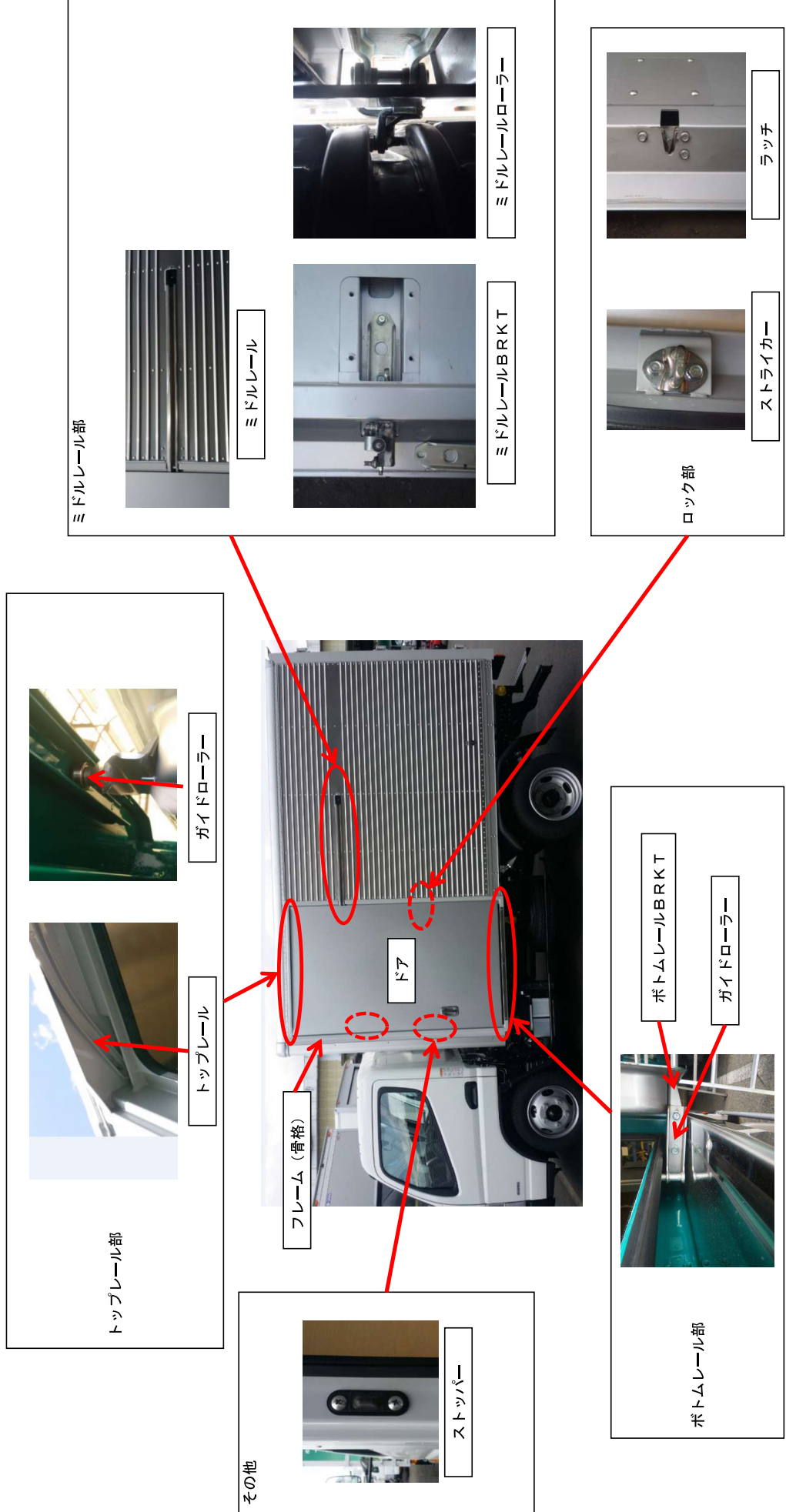




ワンタッチスライドボード交換要領

ワンタッチスライドドア各部名称



使用工具・備品類一覧表

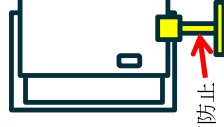
| No | 使用工具・備品     | サイズ・内容等                            | 備考            |
|----|-------------|------------------------------------|---------------|
| 1  | プラスドライバー    | #2、#3                              | ソケットのほうが望ましい  |
| 2  | ラチェットレンチセット | エクステンション 100mm以上<br>ソケット 10mm、12mm |               |
| 3  | トルクレンチ      | MAX 30N・m程度必要                      | 増締め時確認用       |
| 4  | 金定規         | 150mm程度                            | 各クリアランス測定用    |
| 5  | バール等        |                                    | 開梱用           |
| 6  | 板           | 10t×150×500程度                      | ドア上下調整用(強度注意) |
| 7  | マスキングテープ    | 幅15～30mm程度                         | ドア調整・掛代等確認用   |
| 8  | ペン          |                                    | ドア調整位置確認用     |
| 9  | カッター        |                                    |               |
| 10 | ウエス         |                                    | 各部脱脂、清掃用      |
| 11 | 粘土          | 少量                                 | ストライカー掛代確認用   |
| 12 | パーツクリーナー    |                                    | 油汚れ等の清掃用      |
| 13 | グリース        | なるべく粘度の高いもの                        | CRC等不可        |

## 1. 既存ドアの取り外し

- ①ドアを全開にし、ミドルレール部下の骨格に取り付けてあるストライカーを外す。
- ②ドアを全閉の状態在庫内側よりドア内側のミドルレール部のカバーを取り外す。
- ③ドアを少し開けた状態に戻し、ボトムレール部のガイドローラーを取り外す。
- ④ドアの落下防止を図り、ミドルレール部BRKTの取付ボルトを外す。
- ⑤ドアを支えながらゆっくりと少しだけドアを開ける。
- ⑥庫外側からミドル部BRKTを車両後方に抜き取る。
- ⑦ドアを手前に引き、車体から取り外す。

### 警告

ミドルBRKTを外すとドアが後方に傾き、車体から落ちるので、ドア下に台を置かずかドアを吊上げるなど落下防止を図ること



④ ドア落下防止



① ストライカー取り外し



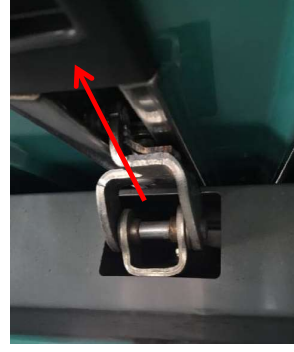
② 庫内カバー取り外し



③ ボトム部ガイドローラー取り外し



④ ミドルレール部BRKTボルト取り外し



⑥ ミドル部BRKT抜き取り

- ⑦ ドアを手前に引き、車体から取り外す。

- ⑤ ドアを支えながらゆっくりと少しだけドアを開ける。

## 2.新規ドアの取付

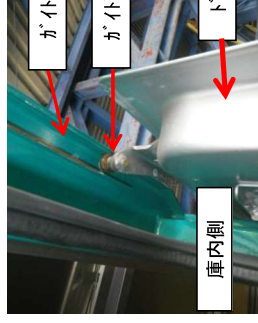
- ①梱包されたドア本体を開梱する。(傷つけないよう注意)
- ②ラッチ取付部の締め付けを確認。(ドアを付けた後だと確認が難しい為)
- ③ドアを持ちトップレール部のガイドレールにガイドローラーを入れ込みドア下側をボトムレール部に乗せる。
- ④ドアを支えながらゆっくりとミドルBRKTを差し込み、内側から仮止めをする。
- ⑤ボトムレール部のガイドローラーをはめ込み、仮止めをする。



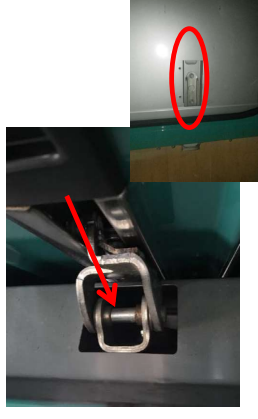
①開梱



②ラッチ部の増し締め



③ドアはめ込み



④ミドルレール部BRKT差込み、仮止め



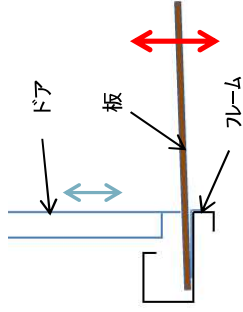
⑤ボトムレール部ガイドローラー取付、仮止め

ドア仮付け完了

### 3. 建付け調整

#### ① ドアチリを揃える (骨格とドアの隙間を揃える)

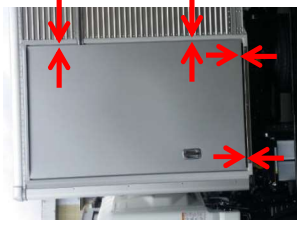
- 1) ドア下部に板もしくはパールのようなものを差し込み調整の準備をする。(板は10mm程度で強いものを使用すること)
- 2) ミドルブラケットの取付ボルトを緩める。(ドアが下がるので注意)
- 3) ドア下部に差し込んだ板を上下させの隙間及び縦方向の隙間を見ながらドアチリを調整する。
- 4) ドアチリが調整できた段階でミドルブラケットのボルトを締めつける。  
(締付の際、ブラケットは車両前方に引っ張った状態、または、外からはドアを押し込んだ状態で締めつける)



2) ミドルブラケットボルト緩め

- 1) ドアの脱落防止と  
ドアを上下させるための準備

ドアチリ調整完了



3) ドアチリ調整

ミドルBRKT締付時はBRKTを前方へ  
押しながら締め付ける



4) ミドルブラケットボルト締め

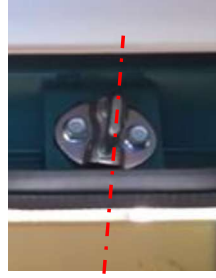
### 3. 建付け調整

#### ② ストライカー取付

- 1) 骨格にストライカーを取り付ける。
- 2) ドアが閉まる寸前まで動かし、ストライカーがラッチの中央に来るようストライカーの位置を決める。(ストライカーは水平に取付の事)
- 3) ストライカーの位置が決まったらストライカーポルトを締めつける。
- 4) ドアの開閉を行い、しっかりとドアがロックすることを確認する。



水平になっている



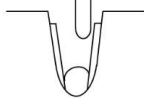
傾いている



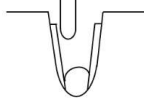
ラッチ部



ラッチ中央にある ストライカーが下側にある



ストライカーが下側にある



ストライカーが上側にある

確認

ストライカーの位置調整でラッチ  
の中央に位置決めができる

YES

P11  
3. 建付け調整の③骨格とドアの出  
代 (段差) の調整へ

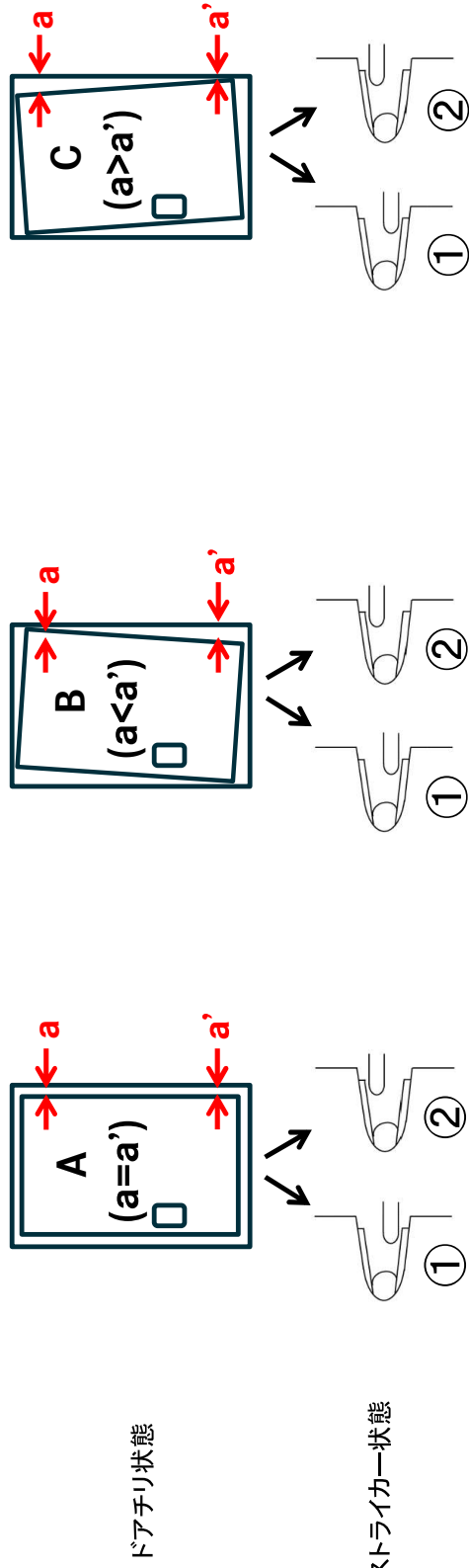
NO

P8  
※. ストライカー位置とド  
アチリ調整へ

※. ストラライカー位置とドアチリ調整

ストラライカーの位置を調整してもストラライカーがラッチの中央に来ない場合は下記のドアチリ状態を確認し、それぞれの調整方法に基づき調整してください。

1. ドアチリとストラライカーの状態



|        |             |                 |               |             |             |                 |
|--------|-------------|-----------------|---------------|-------------|-------------|-----------------|
| ドア状態   | A-①         | A-②             | B-①           | B-②         | C-①         | C-②             |
| 調整パターン | I<br>(上下調整) | II<br>(スパ-サー挿入) | III<br>(調整不可) | I<br>(上下調整) | I<br>(上下調整) | II<br>(スパ-サー挿入) |



※. ストラライカー位置とドアチリ調整

# パターン I (A-① B-② C-①)

※まず、どのような調整を行う場合にも**必ずストラライカーを外します。**

**警告**  
ミドルBRKTを緩めるとドアが後方に傾くので、必ずミドルBRKTを緩める前に板などで支えをすること

- 1) ドア後方を上下させるために、以下の調整を行います。
  - ① ドア内側のカバーを取り外し、ミドルレールBRKTを緩める準備をします。(外側からドアを支えてください)
  - ② 次にドアが落ちない様10mm程度の板を○部に差し込みドアを支えとともに、テコの原理でドアを上下できるように準備してください。
  - ③ ミドルレールBRKTのボルト2本を緩めると同時に○部を上下させストラライカーがラッチの中央に来るよう調整し、ミドルレールBRKTを締めつけてください。

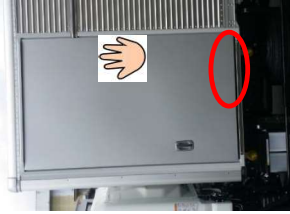
※ドアとフレームの前後、上下方向にテープを貼り、線を入れておくことと上下の変位量がわかりやすくなります。

④ ストラライカーを取り付けラッチの中央に来ていることを確認してください。

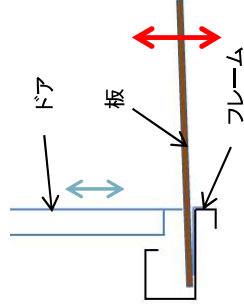
※A-①の状態での調整をしますとドアチリが水平にならなくなりますが、**下側と上側の差が7mm以内であれば調整可とします。(ただし、フレームとドアの干渉無き事)**



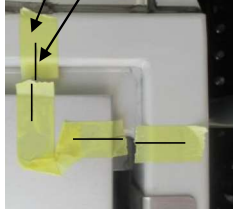
①カバー取り外し



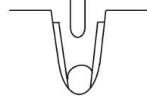
②ドアの脱着防止とドアを上下させるための準備



③ボルトを緩めドアチリ調整後再締付



ミドルBRKT締付時はBRKTを前方へ押しながら締め付ける



④ラッチ中央にあることを確認

※. ストラライカー位置とドアチリ調整

# パターン II (A-② C-②)

※まず、どのような調整を行う場合にも**必ず**ストラライカーを外します。

2) ドア前方を上上げるために、ボトムレールBRKTとドアの間にスペーサーを挿入し、ドアチリの調整を行います。

① ↑部を何ミリくらい上げればドアが水平になるか確認してください。(1.2~3.2mmが調整範囲です)

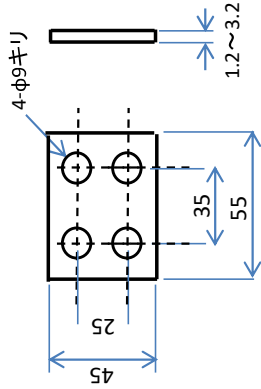
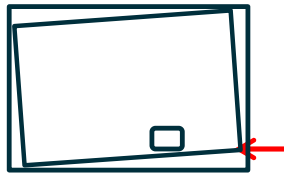
② ドアが落ちない様10mm程度の板を○部に差し込みドアを支える準備をしてください。

③ ボトムレールBRKTの取付ボルトを外します。

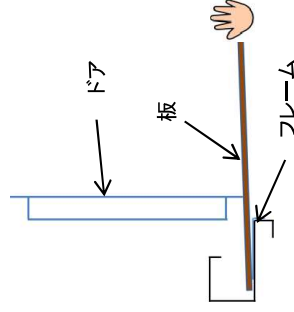
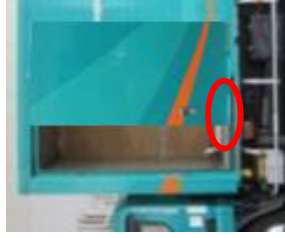
④ 準備したスペーサーを①で確認した厚み分挿入し、再度ボルトを締めつけます。

ドアを上上げる際トップレール部の**ひさしにドアが干渉しない様、上げ過ぎに注意してください**

⑤ ストラライカーを取り付けラッチの中央に来ていることを確認してください。

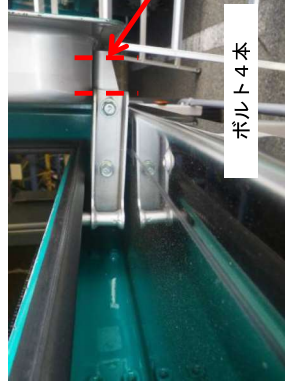


準備するスペーサー

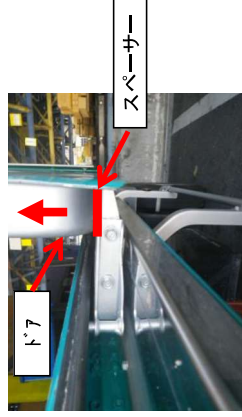


① ドア下部の前後のチリ差を確認

② ドアの脱着防止とドアを上下させるための準備



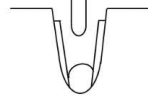
③ ボトムレールBRKTを外す



③ スペーサーを挿入しボルト締付



ドアの上げ過ぎに注意



④ ラッチ中央にあることを確認

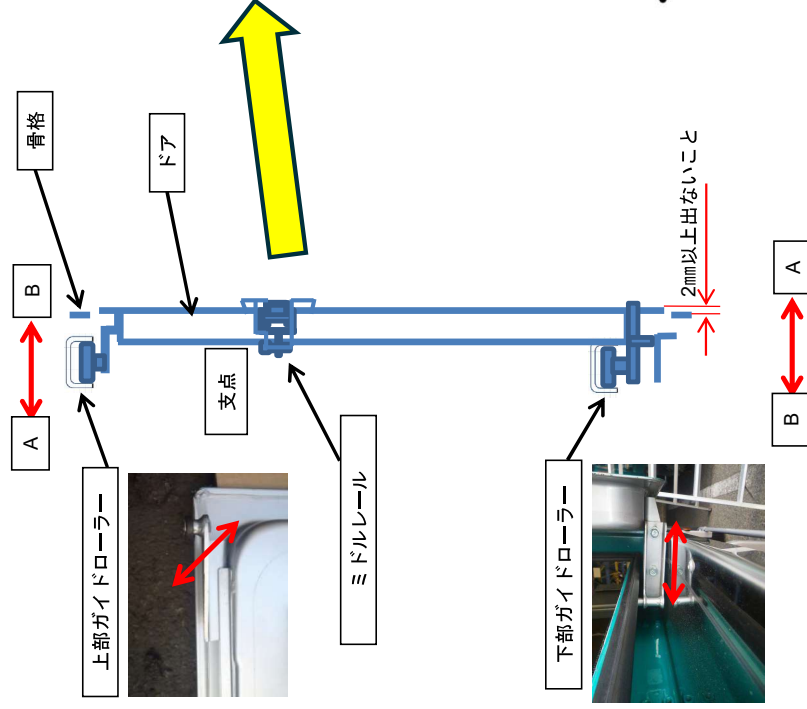
## 警告

ボトムBRKTを外すとドアが前方に傾き落ちるので、必ずボトムBRKTを緩める前に板などで支えをすること

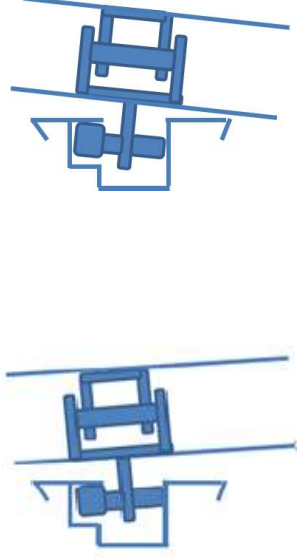
### 3. 建付け調整

③ 骨格とドアの出代(段差)を調整し、庫内の光漏れがないことを確認する。

- 1) 骨格とドア外面の出代(段差)が+2mm以上ないことを確認する。
- 2) ドアを完全に閉めた状態で、庫内からパッキンとドア本体隙間(全周)を見て、光漏れがないことを確認してください。
- 3) 上記1)、2)が確認できない場合は下記のとおり上部ガイドローラーと下部ガイドローラーをスライドさせ調整を行ってください。
- 4) 同時にミドルレール部のガイドローラーの傾きが極端に傾いていないことを確認する。

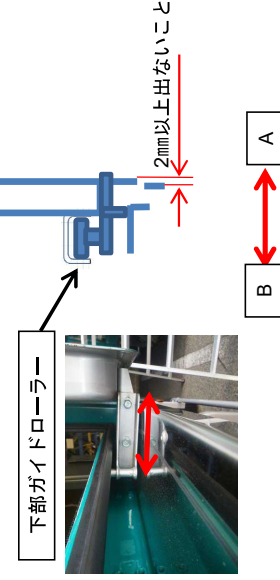


ミドルレール部ガイドローラーの傾き

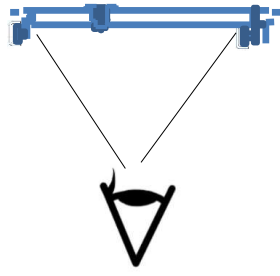


上部・下部ガイドローラー  
を**A方向**に調整した場合

上部・下部ガイドローラー  
を**B方向**に調整した場合



庫内から見て光漏れがないこと



次ページのトップレール部ガイドローラーの掛代確認作業と同時にすると作業がはかどります

### 3. 建付け調整

#### ④ トップレール部ガイドローラー掛かり代の確認

- 1) トップレール部のガイドローラーがガイドレールの直線部で下面から1.5mm以上入り込んでいることを確認する。(図1参照)
- 2) 1.5mm以上入り込んでいない場合はガイドローラーブラケットとドア本体の間にスペーサーを挿入し、1.5mm以上を確保する。(図2参照)

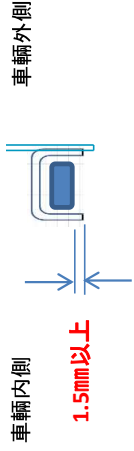


図1 ローラーの掛代



図2 スペーサー挿入要領

#### ⑤ ストライカーとラッチの掛代確認

ラッチがストライカーの内側から2.5mm以上空いていることを確認します。この値が2.5mm未満の場合ドアが閉まらなくなる可能性があります。

- 1) ストライカーのラッチ掛面にマスキングテープを巻き付ける。粘土等があればより良く測定できます。
  - 2) ドアを軽く閉め、ラッチがしっかりと掛ったことを確認し、ドアを開け1)で巻きつけたマスキングテープもしくは粘土にラッチの跡が残ることを確認する。(図1参照)
  - 3) ストライカー内側とラッチの跡のクリアランスを測定する。
  - 4) 3)で確認した数値が2.5mm以上であればストライカー取付面にスペーサーを入れ掛代が2.5mm以上になるよう調整をする。(図2参照)
- ※スペーサーの挿入は最大2枚までとする。(最大3.2mm × 2枚)

ストライカーにマスキングテープ(もしくは粘土)を巻き付けドアを閉める。

↓  
ドアを開けマスキング(もしくは粘土)についたラッチの掛跡とストライカー内側のクリアランスを測定する。



図1 マスキングへのラッチ跡

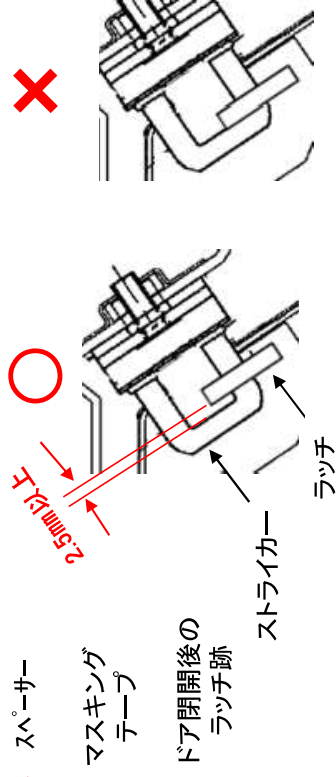
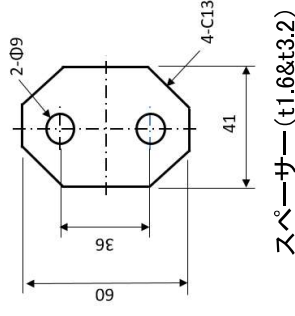


図2 ラッチの掛代



スペーサー (t1.6&t3.2)

### 3. 建付け調整

#### ⑥ ストップバーの調整

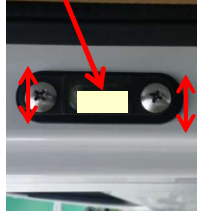
- 1) ドアを閉めた際、フレーム側とドア側の上下2ヶ所についているストップバーが強く干渉していないことを確認する。  
(強く干渉するとゴムの破損につながります)
- 2) 確認後強く干渉している場合はフレーム側ストップバーの位置を調整し、強く干渉しない様調整する。



フレーム側ストップバー



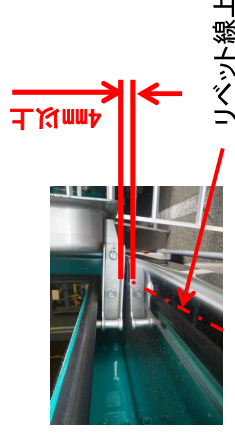
ドア側ストップバー



マスキングテープ

マスキングテープ等を貼付けドアを2～3回強く閉めテープが傷つかないことを確認する。

- #### ⑦ ボトムガイドローラーと床面のクリアランス確認
- ボトムガイドローラー仮面と床面(SUSプレート)の隙間が4mm以上あることを確認する。  
4mm未満の場合はボトムガイドローラー取付ボルトを緩め高さ調整後、締め付けを行う。



- #### ⑧ 各部取付ボルトの締め付け確認
- 別紙規定値に基づきボルトの締め付けトルクを確認する。

- #### ⑨ カバーの取付
- 最初に外したドア内側、ミドルブラケット部のカバーを取り付ける。

- #### ⑩ グリスアップ
- トップ、ミドル、ボトムにあるローラー類にグリスアップする。

- #### ⑪ 清掃
- 庫内・庫外ともにゴミやマスキングの剥がし忘れがないか確認し、汚れ等を清掃する

### 4. 最終確認

別紙「ドア交換確認表」に基づき最終チェックをお願いします。

別紙「各部取付ボルトトルク管理表」

| No | 部位          | 使用ボルト    | 規定トルク                     | 備考       |
|----|-------------|----------|---------------------------|----------|
| 1  | トップガイドBRKT  | M8×20 7T | 20.9N・m<br>(16.7～25.5N・m) |          |
| 2  | ミドルールBRKT   |          |                           |          |
| 3  | ストライカー      |          |                           |          |
| 4  | ラッチ         | M6×16 4T | 4.7N・m<br>(3.9～5.9N・m)    | ドア取付前に確認 |
| 5  | ボトムローラーBRKT | M8×20 7T | 20.9N・m<br>(16.7～25.5N・m) |          |
| 6  | ボトムガイドBRKT  |          |                           |          |

別紙「ドア交換確認表」

| No | 部 位  | チェック           | NGの場合              |
|----|--|----------------|--------------------|
| 1  | ドアは異音や干渉、引っ掛かりなどなくスムーズに開閉できますか   | OK NG          | 建付け調整をもう一度確認してください |
| 2  | ドアロックはドアを強く閉めた場合と弱く閉めた場合でもロックができますか                                    | OK NG          | ストライカー調整<br>ドア出代調整 |
| 3  | ストライカー内側とラッチの掛代は2.5mm以上ありますか<br>(掛代が2.5mm未満の場合ドアを強く閉めるとロックできない恐れがあります) | OK NG<br>( mm) | ストライカー調整           |
| 4  | トップレール部のガイドローラー掛かり代は直線部で1.5mm以上ありますか<br>(掛代が浅いとドア脱落につながりますので重要です)      | OK NG          | スペーサーにて調整          |
| 5  | ボトムガイドローラーと床面(SUSプレート)の隙間は4mm以上ありますか                                   | OK NG          | ボトムガイドローラー調整       |
| 6  | 庫内から見て光漏れはありませんか   | OK NG          | トップ、ボトムのガイドローラー調整  |
| 7  | ドアの表面や縁に傷がついていませんか   | OK NG          | タッチアップ塗装           |